

復刻デザインバスのさよなら運転について（高速線）

2013年12月より運行しておりました、復刻デザインバス、
「青いつばめ」と「赤いつばめ」の運転を終了いたします。

○「青いつばめ」 1964年10月 国鉄バスが高速バスを初めて開業した時のもの

戦前、戦後の省営バスは、ねずみ色を基調としていましたが、国鉄となり、クリーム色を主体に、窓周辺やスカートを一般地向けはあずき色、暖地向けは青みどり色を配していました。1960年代には、青色系、赤色系のデザインも採用され、高速バス開業にあたり青色系に統一されました。前頭部には国鉄を象徴する「動輪エンブレム」、側面には「」を表記、このカラーは国鉄バスから JR バス関東のカラーに継承されています。



【当時】



【復刻デザインバス】

【さよなら運行日】

7月11日 下り 東京駅 7:30発
上り 名古屋駅 17:30発

7月12日 下り 東京駅 7:30発
上り 名古屋駅 17:30発

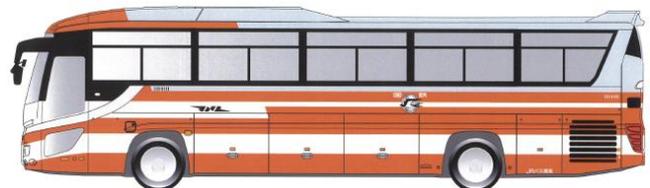
○「赤いつばめ」 1961年～1964年 高速バス開発のための試験車

高速バスは、従来の路線・貸切バスでは出来ない高速連続走行に耐えうる必要があるため、当時の国鉄と自動車メーカーが共同で開発、高速走行試験を行いました。当時は高速試験走行する箇所として、福島県白河にあった国鉄バス専用道路（現在も当社の白柵線専用道路として使用）で行いました。

このバスは、試験専用車両であり、カラーを含めて営業運転は行いませんでしたが、現在の高速バスの基礎となった車両です。



【当時】



【復刻デザインバス】

【さよなら運行日】

7月11日 下り 東京駅 10:00発

7月12日 上り 名古屋駅 8:30発